

2011年11月21日

阪神電気鉄道株式会社  
神戸高速鉄道株式会社

## 甲子園駅の改良工事に11月24日着手します ～阪神甲子園球場の玄関口が新しく生まれ変わります～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：藤原崇起）では、本年6月8日発表の「甲子園駅改良工事」につきまして、11月24日（木）より工事に着手することとなりました。

今回の改良工事は、ホームを拡幅しエレベーターを整備するとともに、駅舎を改築しコンコースを拡張するものであり、エレベーターの設置については、西改札側が2013年度、東改札側が2015年度を予定しています。また、ホーム中央部の膜素材の大屋根は2014年度の設置を予定しています。なお、改良工事の完了は、2016年度を予定しています。

この改良工事は、国土交通省等の「鉄道駅総合改善事業費補助」制度を活用し、国及び地方公共団体からの補助を受け、神戸高速鉄道株式会社（本社：神戸市中央区、社長：嶋井敬司）が事業主体となり実施するもので、工事は神戸高速鉄道から委託を受け、阪神電気鉄道が施行します。

改良工事の概要につきましては、下記をご覧ください。

### 【外観イメージパース】



## 【甲子園駅改良工事の概要】

### 1. 概要

#### ①ホームの拡幅

上り線（梅田・大阪難波方面行き）ホーム、下り線（三宮方面行き）ホーム、下り線降車専用ホームを拡幅します。これに伴い、上り線の降車専用ホームは廃止します。

#### ②バリアフリー化

各ホームにエレベーターを設置します（西改札口3基、東改札口2基）。また、東西改札口に多機能トイレを設置します。

#### ③西改札口の拡張

ホームに通じる新たな通路を、現在の通路の西側に設けるとともに、駅舎を改築しコンコースを拡張します。

#### ④東改札口の改築

駅舎を改築し、東口を新たに設け、駅東方面へのお客様の利便性を高めます。また、上り線（梅田・大阪方面行き）ホームへの通路と下り線（三宮方面行き）ホームへの通路を分離します。

#### ⑤大屋根の設置

ホームの中央付近、県道浜甲子園線の上部に、膜素材を用いた大屋根を設けます。

### 2. 総工事費

54億円

総工事費のうち、国が1/5、地方公共団体（兵庫県・西宮市）が1/5を補助します。

### 3. 事業主体

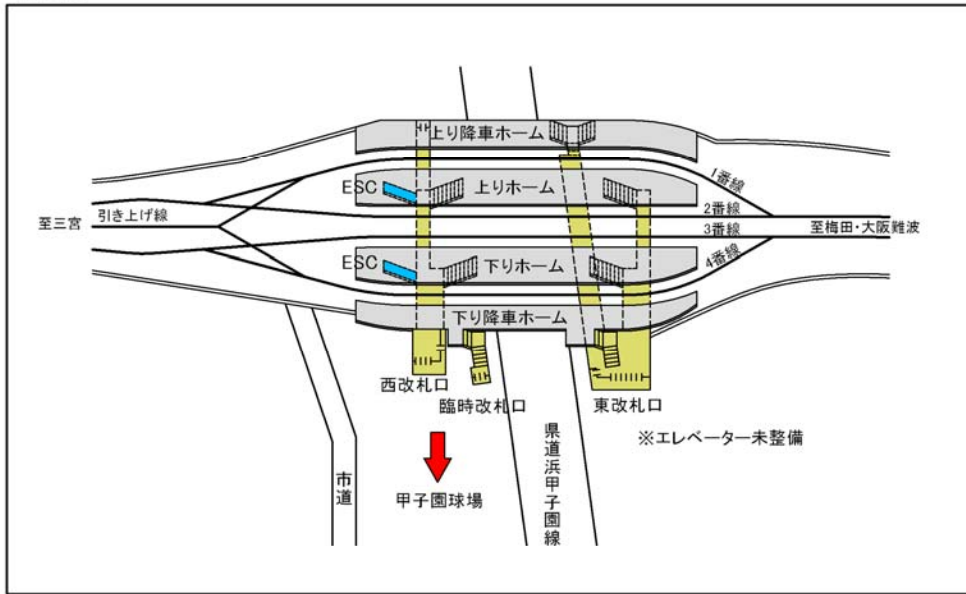
神戸高速鉄道株式会社

（工事は神戸高速鉄道から委託を受けて、阪神電気鉄道が施行します。）

### 4. 工期（予定）

2011年11月24日（木）～2016年度

改良前



改良後

